

日吉橋（ひよしばし）

■日吉橋の歴史

* 昭和3年

日吉橋建設（「広報ところ」昭和47年11月号に記載）

* 昭和24年5月12日

日吉橋、増水のため流失（当直日誌）

* 昭和25年5月1日

日吉橋渡橋式（当直日誌）

* 昭和35年3月13日

前日からの降雨により常呂川氾し、日吉橋・栄福橋（旧橋）流失
（当直日誌）

* 昭和35年12月8日

3月の融雪災害で日吉橋が流失。6月から流失部分・流失しなかった部分の復旧・架け替え工事開始。その間、常呂漁協提供の磯舟で交通確保（広報ところ）

日吉橋渡橋式（当直日誌）



* 復旧工事中の日吉橋：奥の方が流失した部分、橋の下で作業をしています。

* 昭和47年9月

日吉地区の川東と日吉市街を結ぶ日吉橋が完成しました。

246メートルの常呂一長い日吉橋は、昭和45年から3ヶ年計画で事業費1億3千万円を投入して工事が進められていたものです。従来の橋は、昭和3年に建設されたもので、老朽化が著しいうえ、最近の大型農機具の普及などで非常に危険な状態にあり、地元関係者から永久橋の新設が強く望まれていた橋です。（広報ところ）

* 現在の日吉橋

日吉橋を斜めに見て：左手が日吉市街地側



日吉橋を斜めに見て：川東側から



* 日吉市街側から川東側を見て



* 川東側から日吉市街地側を見て



* 橋の上から上流を見て



* 橋の上から下流を見て

